



校長室だより やる気みなぎる『楽しい』学校



きまがせ

令和6年10月31日
野田市立木間ヶ瀬小学校
校長 松藤 有里

先週は、5・6年生が参加した市内音楽会、3・4年生の校外学習と、校外に出る活動が続きました。市内音楽会では、音楽の学習でこつこつと練習を積んできたりコーダー合奏と二部合唱の発表を行いました。大きなホールのステージでスポットライトを浴びた中での発表は、子どもたちにとって、とても貴重な経験になったことと思います。11月17日（日）の木間ヶ瀬公民館祭りでは、5・6年有志による発表も予定されています。



そして、木間ヶ瀬小としては、数年ぶりに実現した「筑波山」への校外学習。事前学習を行い、今回の校外学習のめあては、「思い出に残る **楽しい校外学習にしよう**」に決まりました。しおりには、**楽しいとは・・・安全・協力・助け合い・仲良きの意味を含みます**とも書き加えられていました。

さて、子どもたちにとって、どんな一日だったのでしょうか。

ホームページのブログでも、一日の様子を紹介しましたが、校外学習を終えた子どもたちの感想を紹介します。

【児童の感想から抜粋】

- ・自然の大切さを学びました。いろいろな生き物や木や花がありました。
- ・一番上からみる景色がきれいだった。初めて歩いて登ったので、すごいと思った。
- ・「まだ半分行っていない。」と聞いて、「まじかよ。」と思ったけど、**頂上に着いて下を見て、きれいだな**と思った。
- ・「みんな **がんばろう**。」の声で自分も頑張ろうと思った。
- ・こわかったけど、協力したら、こわさがだんだんなくなった。
- ・頂上まで**みんなの目標が達成**できてよかった。



初めて登山を体験した児童も多くいたようです。想像以上に途中に大きな岩場があったり、木の根が張り出していたりしたので、足元に気を付けながら歩きました。少し登り、大人の感覚で、まだこれくらいでは…と思っても、「わぁ!」「すごい!」「高い!」と**素直に喜ぶ姿**。休憩場所でリュックサックから水筒がうまく取り出せなかった**友達を手伝う姿**。岩が続く場所で、**友達にサッと手を差し伸べる姿**。子どもたちが自然に助け合う姿を、たくさん見ることでできた一日でした。「つらい!」「大変!」と感じた場面もあったと思いますが、御幸ヶ原（昼食場所）に到着した時の子どもたちの笑顔は輝いていました。達成感や充実感を味わうことができたのではないかと思います。さらに、バスの中でも、バスレク係を中心に楽しい時間をみんなで作っていて、子どもたちの成長を感じることができました。3・4年生の保護者の皆様には、朝早くから、お弁当の準備等、ご協力いただき、ありがとうございました。

